

おおさわコモンズ通信

発行：令和7年11月
三鷹市国立天文台周辺地区
まちづくり推進本部事務局

グループワーク「地域の共有地となる地域交流スペースや機能ってどんなのだろう」を開催

10月16日（木）に開催された第3回検討委員会では、『地域の共有地となる地域交流スペースや機能ってどんなのだろう』をテーマに、『地域交流スペースを有する滞在交流型の図書館』や『授業に使っていない時間に地域開放される特別教室』、『里山ゾーンや散策・観察ゾーンなどからなる緑地保全エリア』などに対して、前回と同じ班のグループワークにて具体的なアイデアを出し合いました。また、機能のアイデアだけでなく、セキュリティや防犯対策などに対するアイデアも出されました。今後は、出された意見を踏まえ、エリア別の方針の検討を進めます。

第3回検討委員会 次第

1. 前回ワークショップの振り返りについて
2. グループワーク
『地域の共有地となる地域交流スペースや機能ってどんなのだろう』
3. 全体発表
4. 事務連絡

- 当日出された意見（抜粋） -

■滞在交流型図書館へのアイデア例

- ・寝ころべる、話せる、遊べる図書館
- ・生涯学習スペース/成果を発表できる場
- ・創作物を販売するレンタルスペース/本棚シェア
- ・勉強や飲食等長時間滞在できるカフェスペース
- ・保護者もいられる未就学児スペース（遊び、お話会等）
- ・ミニシアタープロジェクター・映画鑑賞
- ・市役所の相談窓口/子育て・介護の相談所
- ・配信スタジオ/みんなの掲示板

■特別教室へのアイデア例

- ・地域で利用できる貸しスタジオ的な音楽室
- ・DIYワークショップができる図工室
- ・料理教室ができる家庭科室&調理室、子ども食堂
- ・昼食が食べられるランチルーム

■教室配置・セキュリティ対応に関するアイデア例

- ・特別教室は1階、利用者は屋外からアクセス
- ・学校エリアと外部利用者が入る交流エリアは分離
- ・学校側の負担を減らすためにも、常駐の管理者が必要
- ・ITを活用したセキュリティの導入
- ・エリア内外をフェンス等で仕切る

■緑地保全エリア/里山ゾーンへのアイデア例

- ・子どもと地域の人々がつくる里山
- ・市民農園を併設した学校農園
- ・地域でつくるスペース



ワークの様子



全体発表の様子



委員長による総評の様子



『地域の共有地となる地域交流スペースや機能』を
エリアごとに付箋に書き出して、各班でまとめを作成しました

A班 (委員5名)



B班 (委員5名)



C班 (委員4名)



D班 (委員6名)



今後の検討委員会の予定

第4回 11月6日(木) @大沢コミュニティセンター	『配置案(ゾーニング)への意見交換』 市の想定する配置案の説明、上記をテーマにグループワークを実施
第5回 12月22日(月) @大沢コミュニティセンター	『とりまとめ』 第2～4回のグループワークでの意見、議論のまとめなど

国立天文台周辺のまちづくりに関して、ご意見等がございましたら、問合せ先までご連絡ください。国立天文台周辺のまちづくりHP

問合せ先：三鷹市国立天文台周辺地区まちづくり推進本部事務局

電話 まちづくりに関すること：0422-24-9266 / 教育に関すること：0422-29-8349

FAX：0422-45-1271 / Mail：tenmondai-honbu@city.mitaka.lg.jp

